

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成30年5月21日)

項 目	ページ
1 松くい虫防除に係る空中散布について 【森林づくり推進課】	1
2 東郷池でのコノシロ斃死と対応について 【水産課】	2
3 首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の 継続について 【販路拡大・輸出促進課】	3

松くい虫防除に係る空中散布について

平成30年5月21日
森林づくり推進課

平成30年度は、7市町が、昨年に引き続き海岸防災林など重要な松林で空中散布を実施し、松くい虫被害を予防します。

1 実施予定時期（*天候により変更あり）

第1回目 5月29日（火）～6月7日（木）

第2回目 6月11日（月）～6月19日（火）

2 実施予定市町及び面積

（単位：ha）

区 分	実施市町数	実施面積	備 考
平成30年度(A)	7	1,190	1市、6町
平成29年度(B)	7	1,198	1市、6町
差引増減(A-B)	—	△ 8	

※事業実施主体は各市町

＜平成30年度実施予定市町＞

中部地区：三朝町 192ha、湯梨浜町 47ha、琴浦町 148ha（対前年△8ha）、北栄町 95ha

注）湯梨浜町、琴浦町の散布は第1回目のみ

西部地区：米子市 179ha、大山町 386ha、伯耆町 143ha

3 県民への情報提供

新聞広告、ホームページ、関係機関や教育機関への通知などにより広報・周知を行う。

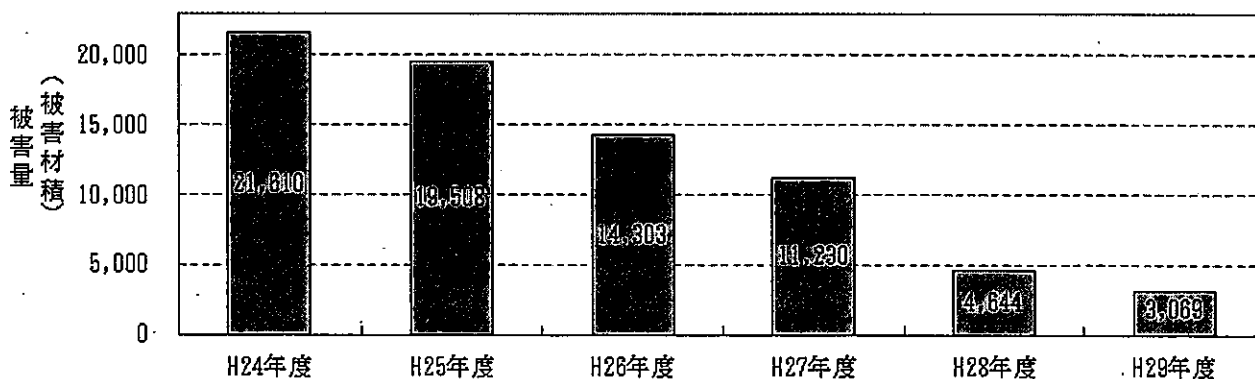
4 秋期の松くい虫防除

県と市町村は、海岸防災林などの重要松林で発生した被害木の伐倒駆除等を行い、被害の拡大防止を徹底する。

【 参 考 】

松くい虫被害量の推移

（単位：m³）



東郷池でのコノシロ斃死と対応について

平成30年5月21日
 くらしの安心局水環境保全課
 水産振興局水産課
 河川課

平成30年4月23日から東郷池でコノシロの斃死が確認され、相当量の回収等や斃死要因の調査を実施したので、その概要を報告する。

概要

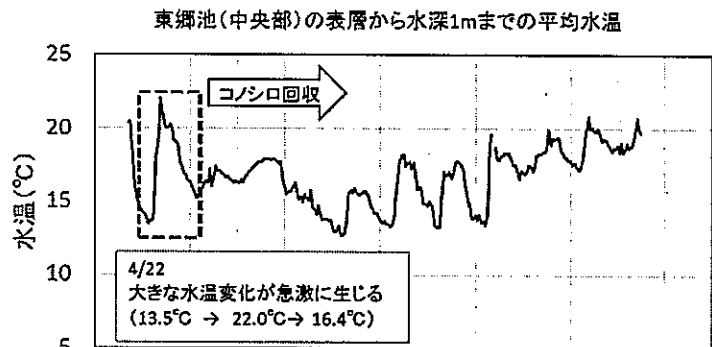
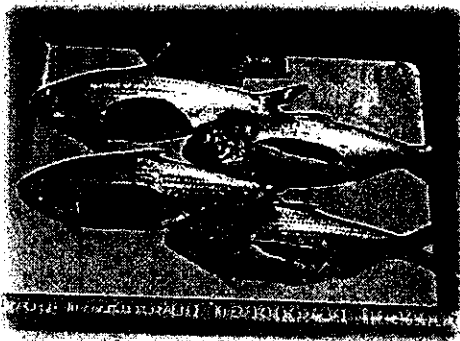
- 4月23日に住民より湯梨浜町に対して「東郷池で大量に魚が死んでいる。」との連絡があり、町が回収・処分を開始した。
- 4月26日には、斃死魚が湖岸に漂着したため、町及び県の関係機関が回収を実施した。その後、連休期間の4月27日以降、中部総合事務所が中心となり、5月3日までの間、町と県が連携して、早朝パトロール及び回収を実施した。
- 総回収量は13.6t、近年では平成25年7月に湖山池37.4t(貧酸素)斃死に次ぐ規模である。
- 斃死原因は不明であるが、4月22日に水温の急激な変動が記録されており、この変動が一因であると考えている。

1 近年の東郷池におけるコノシロの斃死

年月	内容	原因
平成29年1月中旬	コノシロ 50kg	不明※同時期に湖山池でもコノシロの斃死を確認
平成30年4月下旬	コノシロ 13,550kg	水温の急激な変化による斃死と推察される。

2 斃死の要因等

- ・斃死確認前日4月22日に、水温の急激な変化(午前3時・13度→午前9時・22度→午後11時・16度)があったことから、これが一つの要因と考えられるが原因の特定にまで至ってはいない。
- ・栽培漁業センターで魚病検査を行ったが魚病ではなかった。また、回収魚の成熟状況を調査したところ、雌雄ともに生殖腺が発達した産卵前の状態であったので、産卵後の疲弊ではないと思われる。
- ・衛生環境研究所で検査を行った結果、斃死の原因となる有害なプランクトンの大量発生はないこと、水質異常値がないことを確認したことから、プランクトン等も要因ではないと考えている。
- ・溶存酸素濃度は、表層部、中層部、底層部のいずれにおいても、生存に必要な濃度3.0mg/Lを大きく上回っていること(約6.5から10.5mg/L)から貧酸素も要因ではないと考えている。



3 今後の対応

コノシロについては知見が少なく、斃死の原因についても不明な点が多いことから、斃死が確認された際には速やかに対応できるよう引き続き初動体制の確保に努める。

<参考1>湖山池でコノシロ斃死

- ・平成30年3月下旬～4月上旬に湖山池で約500kgを回収。この際は、水温・溶存酸素・プランクトン発生・塩分濃度等の異常値は確認されてない。

<参考2>コノシロについて

- ・群になって内湾に棲息し、汽水域にも進入し、プランクトンや小型の甲殻類、珪藻などを食べている。産卵は、春から初夏にかけて内湾浅場の底層域で、一斉に放卵放精するといわれる。
- ・成魚は全長25cm程度で、全長10cmほどの若魚が「コハダ(小鱈)」と呼ばれ、酢漬けにしたものが寿司種として珍重される。

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の継続について

平成30年5月21日
東京本部
販路拡大・輸出促進課

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」は、平成30年度末に入居建物の賃貸借契約の期限が到来します。平成26年9月の開設から現在までの実績を踏まえ、さらなる情報発信・販路開拓に向けた取組を行うため、平成31年度以降も首都圏において、現在の店舗で岡山県との共同アンテナショップを継続したいと考えており、今後の賃貸借契約の締結について建物所有者との交渉を進めます。

1 アンテナショップの設置目的等

(1) 設置趣旨・目的等

- 首都圏の消費者に、山陽と山陰の異なる気候風土や歴史文化に培われた両県産の特色ある食材・食品その他の特産品を一堂に展示・紹介することにより、相乗的に顧客満足度の向上と産地側のアピール力向上を図る。
- アンテナショップを首都圏における両県産品や観光、移住等に関する総合的な情報発信拠点として、観光客入込数の増加や県産品の販路拡大、IJUターンの促進等に資する。

(2) 主な機能

- 1階 物販店舗
- 2階 飲食店舗、催事スペース、観光・移住コーナー、ビジネスセンター

(3) 機能充実の検討内容

- 飲食店舗の魅力向上（店内装飾の一部変更、調理設備の機能強化）
- 物販店舗のアピール力強化（商品展示設備の更新、生鮮品冷蔵ケースの増設）
- 外国人対応の充実（免税対応機器等の導入、接客用翻訳機の整備）
- ビジネスセンターの機能充実（共同ワーキングスペースの整備、IJUターン就職支援機能の設置）

2 建物所有者からの賃貸借契約の提示内容

- (1) 契約の相手方 東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区）
- (2) 契約条件 平成31年4月1日から5年間の定期建物賃貸借契約
- (3) 所在地 東京都港区新橋一丁目11-7 新橋センタープレイス1・2階
- (4) 面積 941.35㎡（1階：354.01㎡、2階：587.34㎡）
- (5) 賃貸借料 5年間：422,086千円（税込）[鳥取県負担分、現状維持]

※東京オリンピック・パラリンピックを控え、都内の賃借料が高騰している中であって据置

3 今後のスケジュール（予定）

- 平成30年6月 次期賃貸借契約に係る債務負担行為の予算案を6月議会で提案（予算の所管は総務部）
- 7月 次期運営事業者の公募開始（9月頃 事業者決定）
- 平成31年4月 改修工事等を実施（約1か月間閉館）
- 4月末 リニューアルオープン

【参考】首都圏アンテナショップ「とっとり・おかもま新橋館」の運営状況（平成29年度実績）

1 入館者数（平成29年度）

506,369人（前年度比：101.5%）

※開館（平成26年9月28日）からの延べ入館者数 1,777,120人（平成30年3月31日現在）

※年度別入館者数

年 度	入館者数（対前年度）
平成26年度	279,157人
平成27年度	492,611人
平成28年度	498,983人（101.3%）
平成29年度	506,369人（101.5%）

（注）平成26年度は、平成26年9月から平成27年3月の期間

2 売上金額（平成29年度）

1階 物販店舗（対前年度）	2階 飲食店舗（対前年度）	計（対前年度）
270,638千円（103.2%）	87,957千円（102.1%）	358,595千円（103.0%）

3 催事スペース等の利用日数【鳥取県分】（平成29年度）

区 分	利用日数（対前年度）
プロモーションゾーン（1階）	122日（102.5%）
催事スペース（2階）	108日（75.0%）

4 観光・移住コーナーにおける相談件数【鳥取県分】（平成29年度）

区 分	相談件数（対前年度）
観光関係	739件（93.9%）
移住関係	37件（86.0%）
計	776件（93.5%）

5 ビジネスセンターの長期利用件数【鳥取県分】（平成30年3月31日現在）

8ブース中、4社4ブース

6 マスコミへの露出（平成29年度）

- ・テレビ：スッキリ（5月31日放映、日本テレビ）他7件
- ・ラジオ：午後はドキドキ！（4月3日放送、BSSラジオ）他30件
- ・新聞：新潟日報おとなプラス（4月5日掲載、新潟日報）他54件
- ・雑誌：散歩の達人肉グルメ（4月1日掲載、交通新聞社）他12件
- ・ネット配信等：風土47（5月1日掲載）他13件



プリンセスかおりのPR
（プロモーションゾーン1階）



「とりそらたかく」選定商品首都圏初お披露目PR
（催事スペース2階）